

こんろ火災を防ぐポイント

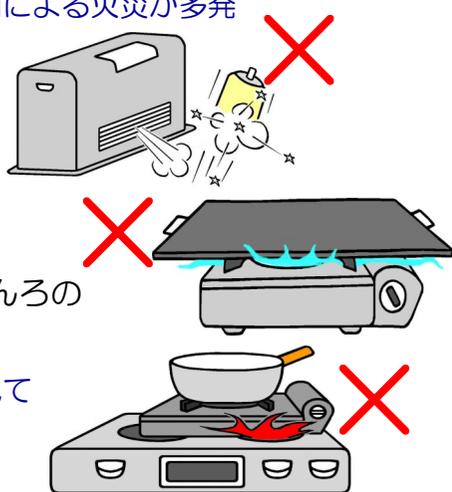


- ◆ 調理中にこんろから離れない
- ◆ こんろの周りに燃えやすいものを置かない
- ◆ 換気扇や壁、魚グリル等は定期的に掃除する
- ◆ こんろの上や奥にあるものを取るときは、火を消す
- ◆ 安全機能付きのこんろを使用する
→ 現在製造されている家庭用のガスこんろは、全てSiセンサーこんろです。
(全口に調理油過熱防止装置、立ち消え安全装置、こんろ・グリル消し忘れ消火機能がついているガスこんろです。)

カセットこんろは適切に使いましょう

カセットこんろによる住宅火災では、鍋などからはみ出した炎が着衣に着火したり、不適切な使用によるボンベの爆発等により火災となり、死者や負傷者が多数発生しています。次のことに注意して安全に使いましょう。

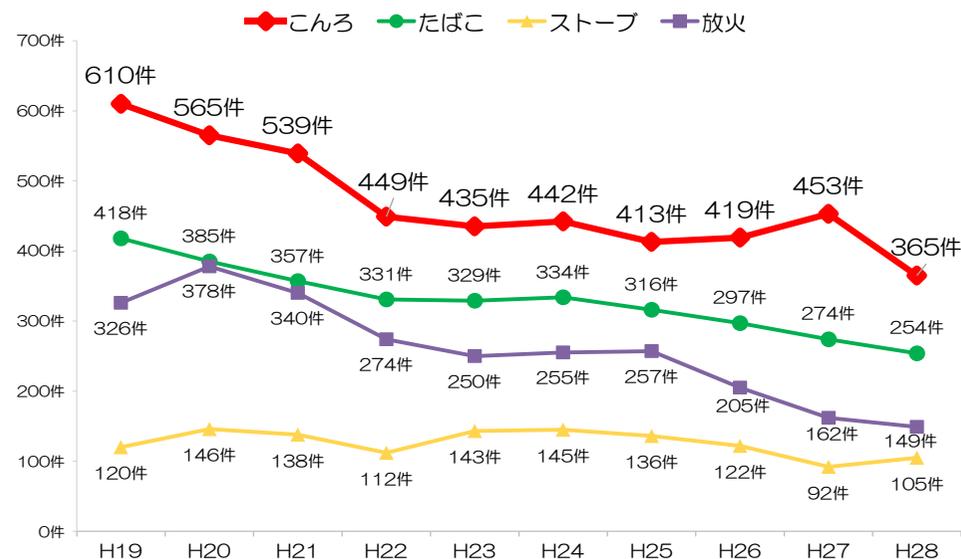
- カセットこんろの周囲には、燃えやすいものを置かない
→ 整理整頓されていない居室での使用による火災が多発
- カセットボンベを暖房器具の前や高温になる場所に置かない
- カセットこんろ全体をおおうような大きな調理器具は使用しない
→ ボンベが高温になり爆発の原因に
- IHクッキングヒーターやガスこんろの上にカセットこんろを置かない
→ 誤って下のこんろのスイッチを入れて爆発する事故が発生



STOP! こんろ火災

東京消防庁

住宅火災の出火原因で最も多いこんろ火災



出火原因別の住宅火災件数(平成19年～平成28年)

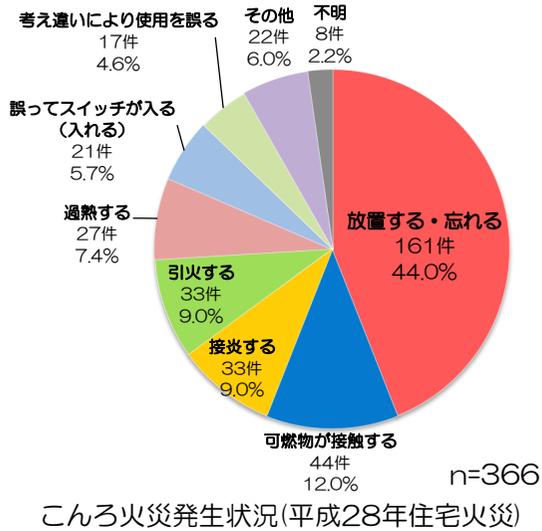


毎年、住宅火災の出火原因の中で一番多いものは「**こんろ**」です。

次のページで、こんろ火災の発生状況をご覧ください。



調理中に 離れない

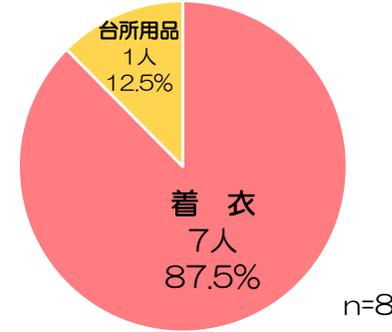


こんろ火災発生状況(平成28年住宅火災)

平成28年中のこんろによる住宅火災の半数近くが、**火をつけたまま放置する、つけたことを忘れる**ことで発生しています。

- ◆ 調理中にこんろから離れない!
- ◆ 離れるときは必ず火を消す!

こんろ火災から 命を守るために



こんろ火災による着火物別 死者発生状況(平成28年住宅火災)

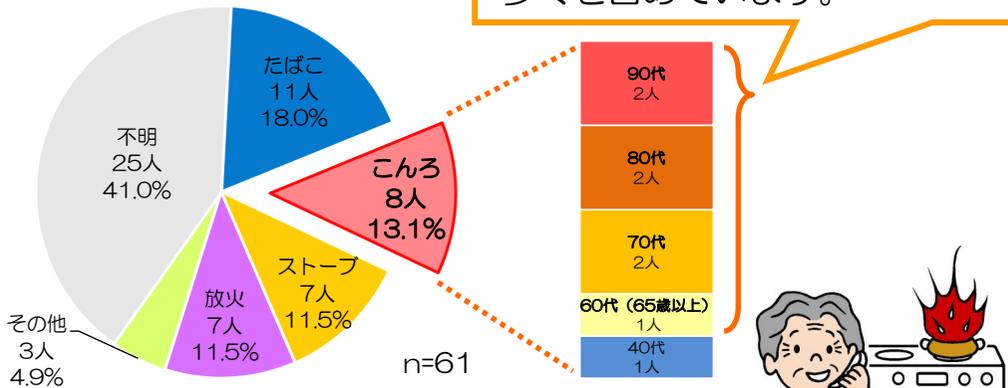
平成28年中のこんろによる住宅火災の死者は、**着衣に着火**したことによるものが9割近くを占めています。

! 着衣着火を防ぐポイント!

- ◆ 調理中は、マフラー・ストールなどは外し、すそや袖が広がっている服を着ている時は、特に炎に接しないように注意しましょう。
- ◆ こんろの周りは、整理整頓をしましょう。
- ◆ 鍋等の底から炎がはみ出さないよう、適切な火力に調整しましょう。

高齢者が危ない!

こんろによる住宅火災の死者は**65歳以上の高齢者**が多くを占めています。



(平成28年住宅火災)

住宅用火災警報器が非常に有効です!

<奏功事例1>

住宅の居住者(女性・70代)が、台所で鍋に火をかけたまま、料理を運ぶために、その場を離れたため、火災となりました。台所に設置された住宅用火災警報器が火災を感知し、鳴動したため、居住者が火災を発見し、119番通報と初期消火を行い火災の延焼を防ぎました。



<奏功事例2>

共同住宅の居住者(男性・50代)が、鍋を火にかけてそのまま就寝してしまったことにより、鍋が過熱され続け空焚き状態になり、発生した煙を住宅用火災警報器が感知しました。火元建物付近を通りかかった通行人が、住宅用火災警報器の鳴動音と換気扇の排気口から煙が出ているのを見つけ、自身の携帯電話で119番通報をしました。消防隊が到着後、室内を確認しましたが、焼損には至っておらず、火災を未然に防ぎました。

住宅用火災警報器の設置場所は、全ての居室・台所・階段